

眞壁陸二 (Rikuji Makabe)

1971 金沢市生まれ

1998 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業

略歴

2010 瀬戸内国際芸術祭「男木島 wallalley」(男木島 / 香川)

2012 個展「何度も何度でも」(ベイスギャラリー / 東京)

「イチハナリ アート プロジェクト」うるま市 (伊計島 / 沖縄)

個展「SUSTAINABILITY」(Triumph Gallery/ モスクワ / ロシア)

2013 瀬戸内国際芸術祭「男木島 wallalley」(男木島 / 香川)

「イチハナリ アート プロジェクト」うるま市 (伊計島 / 沖縄)

「The forgotten myth」(ギャラリー点 / 金沢)

直島を初めとして、多くの作家が参加する日本でも最大規模の国際芸術祭である瀬戸内国際芸術祭。
第1回より男木島の建物の壁面に作品を展示している眞壁陸二の作品は、今も男木島には常設展示作品として、
その土地の光を受けながら島にはなくてはならない景色の一部となっています。

眞壁陸二の作品コンセプトは「自然と共存しながらそこに存在する人間」
そして、「樹」がモチーフとして用いられています。

大地が樹々を育み、森林に。
樹齢何百年もの樹々は太古の昔より人間を取り巻く環境として、人が生きていく中で様々な恩恵をもたらしてくれています。
その深い森林に入ると、人間の寿命をはるかに超えた樹々からは何かしら人知を超えた無限が存在するような気がします。

今年、琳派 400 年を迎える日本文化代表でもある俵屋宗達、長谷川等伯や尾形光琳の作品のような意匠的な構成もありながら、
「余白」ともいえる「無」のパーツを組み合わせる事から構成された眞壁陸二の作品は太古の昔と現在が時空を超えて無限の広がりを感じさせてくれます。

山にも多く登られ、自然の偉大さ、厳しさを肌で感じ経験なさっている荻堂シェフが、作品からどんな刺激を受けて大地の恵み
である食材から、どのような無限の広がりを持ったお料理に表現なさるのか楽しみです。

<協力： Gallery 点 石川県金沢市入江 2-243 <http://galleryten.net/>>

Art Coordinator 湯浅 央子

芦屋市在住。 古美術から美術品のオークション会社での経験を経て、現代に生きるアーティストの作品の魅力を伝える。
Art Coordinator として、各地のアートフェアの運営アシスタント、ギャラリーでのディレクションや若手作家のプロモーション、
企業とのアートコラボのキュレーションやワークショップ開催など。

店内の作品にご興味をお持ち下さったり、又ご自宅やオフィスに作品をとお考えの際はいつでもお気軽にご連絡くださいませ。
様々な作家の作品からお客様の好みに沿うような作品をご提案させていただきます。
また美術品のご売却のご相談も承りますので、お気軽にどうぞ。



URL: www.eiei-coordinate.com

美術商 兵庫県公安委員会許可 第 631301200011 号